

日本眼科医会の

【園児のための視力検査マニュアル】

- 幼児が質問の意味を理解していること(練習)
 - 楽しく、遊び感覚
 - 被検者の慣れ
-
- ランドルト環単独視標
 - 測定用検眼枠、遮眼器
(遮閉板、遮眼子)



【園児の視力検査器具の例】

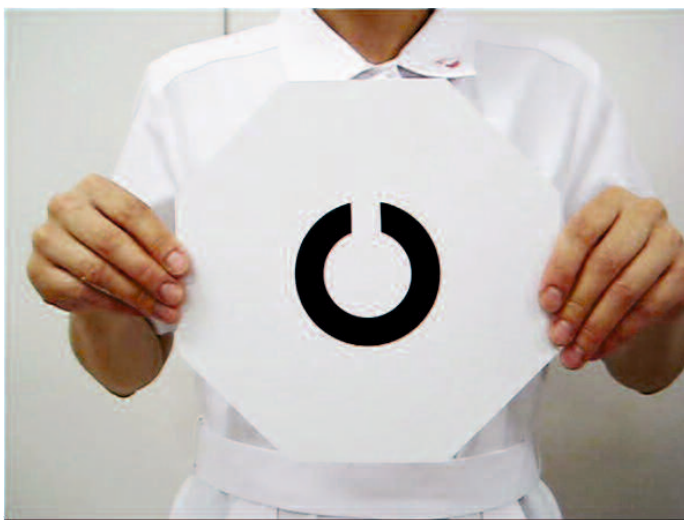
- ・ 測定用検眼枠
（約5,000円）
- ・ 検眼枠用遮閉板（黒板）
（約1,700円）
- ・ ランドルト環単独視標（アクリル）
0.1 （約1,200円）
- ・ ランドルト環単独指標（紙）
0.3、0.7、1.0
（約1,600円（3視標））
- ・ ハンドル 手作り可
（約2,000円）
- ・ 初期投資：約11,500円



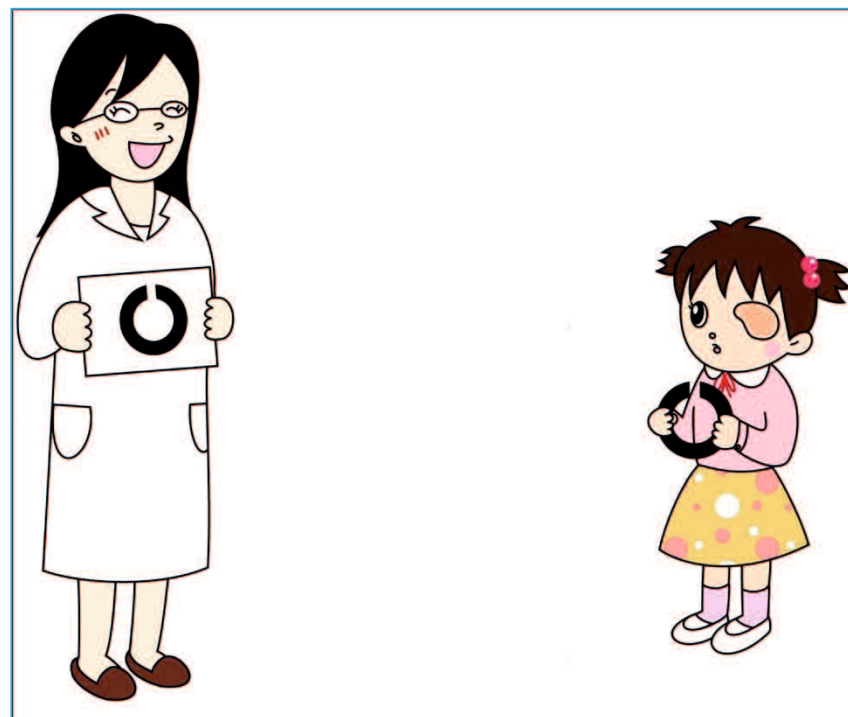
ハンドル（手作りでも可）

【園・家庭で練習】

- ・ 測定の意義を保護者が理解できるお知らせ
- ・ 1週間前から練習しましょう！



ランドルト環単独視標(字ひとつ)



【みんなで練習】



4才からは指指し可能

- 十分理解できてから
- テストではない
- まちがってもよい
- 楽しく、遊び感覚で

【視力検査の実際】

【準備】

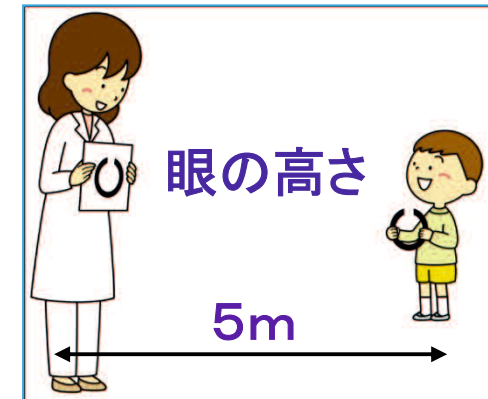
- ・ 視力表から眼までの距離は 5m
(3mでも可、3m用視標を使用)
- ・ ランドルト環単独視標を用い、園児の眼の高さに合わせる
字づまり視力表では読みわけ困難のため視力が出にくい
- ・ 照明: 視標の白い背地の部分の明るさは、
まぶしすぎ、あるいは暗すぎないように配慮する
照度は500～1,000ルクスとする

【検査の方法】

- ・ 検査員は二人一組が望ましい
- ・ 最初に0.1か0.3の指標で理解度確認
- ・ 上下左右の4方向のうち、3方向正解でパス、斜めは不要
- ・ 視野に入る範囲に友達がいないようにする

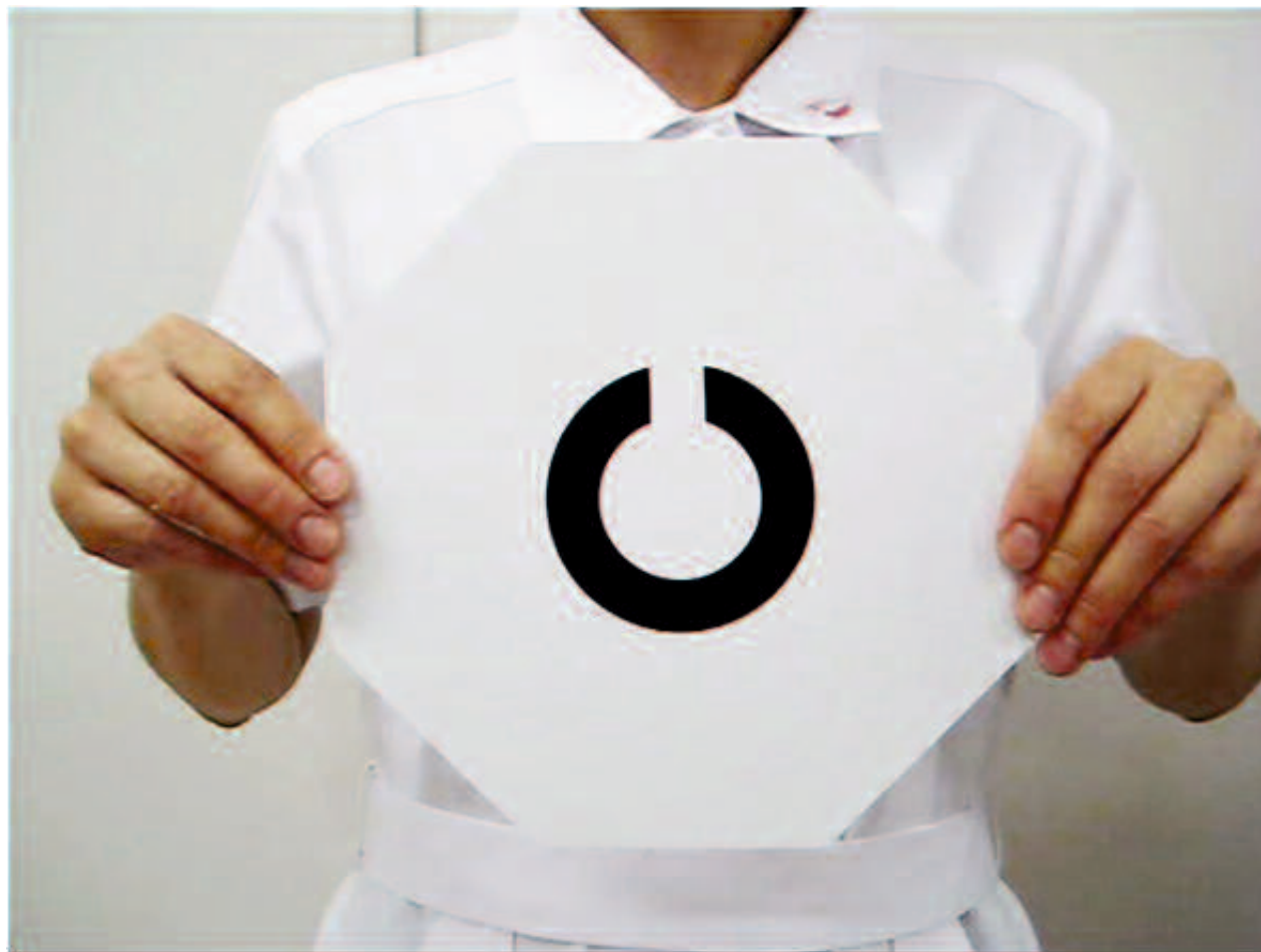
【眼科受診を勧める幼児】

- ・ 年長児は1.0未満、年少・年中児は0.7未満で受診を勧める
- ・ 首をかしげる場合(斜視の疑い)
- ・ 片眼をかくすと嫌がる、顔を傾ける、顔を曲げてのぞきながら検査する、眼が揺れている



ランドルト環単独視標

【視標の出しかた】



視標の方向を変えるときは、裏返してくるりと回しながら変えていく

【注意点】



- 目を細めない
- 目を押さえない
- 顔をまっすぐに
- 反対目をつぶらない
(遮閉している眼をつぶらない)

